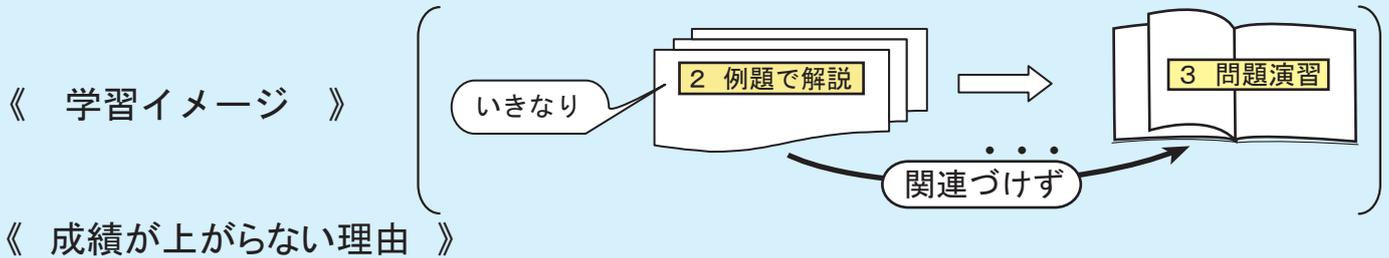


**1** 成績が上がらない塾・一般プロの解説法 … 1問1問の解説をバラバラにする方法

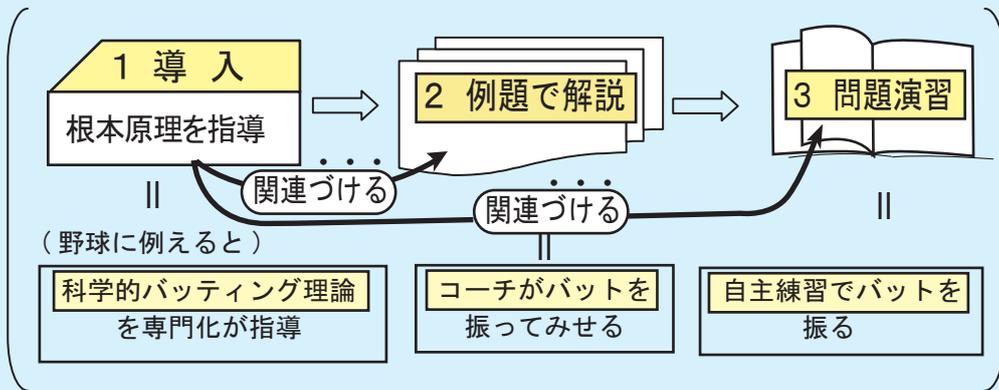


- ① 塾での解説自体はプロの解説と言っていいでしょう。しかし、成績が上がらない子が8割以上いることも事実です。塾では毎週のカリキュラムをこなさなければいけないので、「導入に時間をかけたり」「テーマの全体像を示す体系的な講義」はできません。そのため、クイズの答えを覚えるのと同様に、問題の数だけ答えを覚えなければなりません。結果として、時間ばかりかかり非常に**効率の悪い学習**をさせることになります。
- ② このような1問だけの解き方を教える解説は、テキストの解答を再現しているだけです。親御さんや気の利いた大学生でも少し勉強すれば可能なのです。（塾のテキストに載っている解答は、一般的・基本的な解答で、必要最低限の解答なのです。そのため、「一人ひとりの子供により分かりやすくするためにはどうすればよいのか」・「子供の成績をどう上げるか」という**具体策やノウハウは入っていない**のです。）

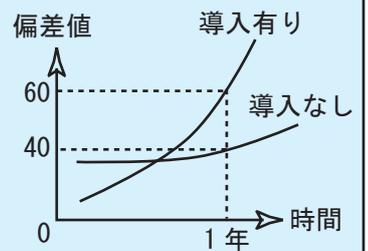


**2** 成績が上がる偏差値20アップノウハウに基づく指導法のまとめ

《 学習イメージ 》



《効果》



《 成績が上がる理由 》

- ① 「導入」で「根本原理」を解説するには、余分な指導時間が必要だが、各テーマの根本原理をイメージでき、個々の問題演習で効率的な学習ができるため、**逆に短時間でマスターできる**。
- ② 小学校では、まず「教科書」で根本原理を学んだ後に、「問題集」を解いているはず。問題を使っていきなり解説するのは、無理があると考えられているからである。塾式の学習ではなく、学校式の学習が基本中の基本。
- ③ はじめに、「根本原理」を詳しく絵や図などを使って指導すると、子供にも受け入れられやすく、勉強に対する興味を引き出しやすい。これらの結果として、導入を省略して、問題演習ばかりやる学習方法よりも、**演習量が少なくて済み、また、記憶も長続きして、逆に短時間で実力がつく**のである。次の具体例で確認してください。

➔ 「偏差値20アップ指導法」のより詳細はこちら

「偏差値20アップ学習法」と「通常の学習法」を下に比較してあります。

比較することによって、「1年で偏差値20上がる学習法」を自分のものにして下さい。

### 偏差値20アップ学習法（指導法）とは ▶ 下の3ポイントのみ！

#### ① 算数 = 簡単 = 面白い という意識 を植えつけよう！！

ここが「一般のプロや親御さん」と「本物のプロ」との違いです。「一般のプロや親御さん」は「教えよう。解説しよう。」としますが、「本物のプロ」は「自分から進んでやらせよう。」「そのためには面白さを伝授しよう」と考えるものです。無理やり教えたり、面白くない解説や未熟な解説力では、子供は勉強そのものから逃げてしまい成績が上がるどころではないということを知っているからです。

#### ② 根本原理を徹底マスター させましょう！

受験科目を得意にする上で、欠かせない「根本原理」というものがあります。しかし子供はなかなか覚えてくれません。そこで、指導者は、この「根本原理を徹底的にマスター」させるために、あらゆる工夫をする必要があります。

例えば、「暗記」という言葉は子供が最も反応しやすい言葉です。そこで「暗記」という言葉を取り入れて指示するのです。単に「ポイントだから覚えるように。」という言い方では具体的にどうすればいいかわからず、子供はなかなか覚えてくれません。「暗記ポイント」などという言葉を使って、自習する際の具体的な指針を示すと効果的です。

このように、子供が反応しやすい言葉自体を知っているのもプロならではの指導にはプロのノウハウを参考にしてください。

#### → より具体的にはこちら

#### ③ 「テキストの解説」と『プロの偏差値20アップ学習法』の両方とも覚えさせるよう、自宅学習指導 をしましょう！

「一般的なテキストの解説」は、誰にも受け入れられるよう「一般論的・学問的」に記述されています。そのため、勉強方法などのコツやノウハウは入っていません。例えて言うなら、市販カレーのルーの箱に書いてある「一般的なカレーの作り方」のようなものです。逆に、「一流プロの解説」には、その先生が経験からあみ出した「秘伝のコツやノウハウ」がテンコ盛りのはずです。

我々の言う「偏差値20アップ学習法」は、この「一般的なテキスト」と「プロの解説」の両方とも覚えさせること。さらにこれを自宅で具体的にどのように学習するのか、その具体的な学習方法を指導する「自宅学習指導」を徹底する手法を言います。

ほとんどのお子さんが、塾に通ってプロの解説を受けているにもかかわらず、自宅学習の際、テキストの解説しか見ず、テキストの解説を覚えようとする子がほとんどなのです。これでは、いかにも学問的解説で、面白くありませんし、興味もわきません。その結果、受験相談の際よく聞く話なのですが、「うちの子は勉強をしっかりとっていますが、成績が上がらないんです…」ということになるのです。

やみくもに勉強をしても成績は上がりません。まして小学生ですから効率的な勉強方法など知りません。プロのノウハウにしたがって学習するのがいいでしょう。「成果が出ない努力をしても意味がない。」ということです。

#### → より具体的にはこちら

以上、『偏差値20アップ学習法』というと、大仰に聞こえますが、上記の3ポイントだけです。しかし、この3ポイントを実践して、半年や1年もすると、「嘘のように偏差値の10や20くらい差が出てしまう」ものなのです。

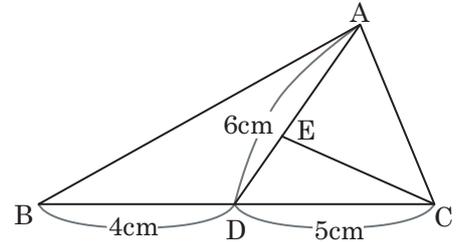
ようは、ライバル相手が未熟な小学生で、効率良い学習ができないため、逆に、効率的な学習をさせれば大人の受験よりもはるかに容易に、短時間で成績が上がってしまうのです。是非とも、指導される先生方や親御さんは、この『偏差値20アップ指導法』を身につけ、子供に成績が簡単に上がる喜びを体験させてあげてください。

下の **例題** を使って、「偏差値20アップ学習法」による解説と「通常のテキストの解説」の違いを理解し、「1年で偏差値20上がる学習方法」を自分のものにして下さい。

## 例題

右の図の三角形ABCの面積は $18\text{ cm}^2$ です。これについて次の問いに答えなさい。

- (1) 三角形ABDの面積は何 $\text{ cm}^2$ ですか。  
 (2) 三角形AECと三角形ABDの面積が等しいとき、EDの長さは何 $\text{ cm}$ ですか。



## 偏差値20アップ指導法 を加味したプロによる解説

### 暗記ポイント1

- ① 「面積比」ときたら ⇒ 「双子山」が出る！  
 ② 「双子山」ときたら ⇒ 「辺の比が = 面積比」 ⇒ 「面積比が = 辺の比」！

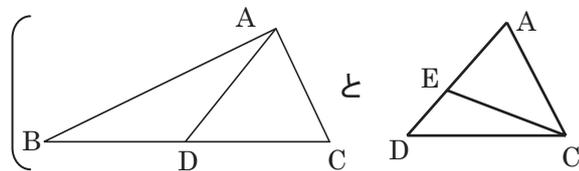
### <解説ポイント>

導入

- ① 「双子山（高さが等しい2つの三角形）」というポイントが問われた問題です。

→ **双子山について詳しくはこちら**

- ② 「双子山探しゲーム！」などと言って楽しみましょう！！



が発見できるかどうか？  
 が聞かれているにすぎない。

- ③ 「算数の問題なんて、こんなものだよ！！」「そもそも簡単でこんなに、おもしろいんだよ！！」ということをすり込む。

① まず、どんな「ポイント」が聞かれているか「ポイント」を示す。

② 相手は小学生。「ゲーム化」するなど、まず引きつけます。

③ 「算数を解説する」のではなく、「算数は楽しんだ」ということを教えるのが本当のプロです！！



④ 導入に手間をかけて、その後、解説に持ち込む。

④ 導入をして、その後、解説。

解説

- (1)  
 ⑤ 三角形ABDと三角形ADCを比べると、「高さが等しい2つの三角形（双子山）」ですから、その面積比は、底辺の長さの比に等しく

$$\triangle ABD : \triangle ADC = ④ : ⑤ \text{ になります。}$$

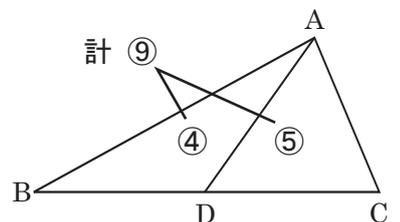
(1)

- ⑥  $\triangle ABD$ と $\triangle ADC$ の面積比④と⑤を図に**メモ書きしよう！！**

$$18 \div (④ + ⑤) = 2\text{ cm} \dots \text{比の①当たりの面積}$$

$$\triangle ABD = 2\text{ cm}^2 \times ④ = \boxed{8\text{ (cm}^2\text{)}}$$

⑤ 図に比をメモする方法を教える。「面積比」の問題は、メモがしっかり書ければ、本当に簡単に解けるということを徹底的に指導する。



↓ つづく

暗記ポイント 1

- ① 「面積比」ときたら ⇒ 「双子山」が出る！
- ② 「双子山」ときたら ⇒ 「辺の比が = 面積比」 ⇒ 「面積比が = 辺の比」！

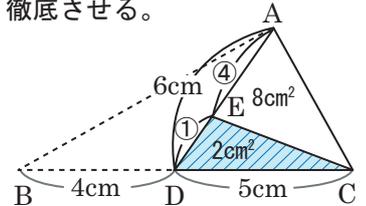
解説  
(2)

(2)

- ⑦  $\triangle ADC$ の面積は、 $(2 \times 5) = 10 \text{ cm}^2$ であり、また、 $\triangle AEC$ は $\triangle ABD$ と同じ $8 \text{ cm}^2$ ですから、 $\triangle EDC$ の面積は、  
 $\triangle EDC = 10 - 8 = 2 \text{ (cm}^2\text{)}$
- ⑧  $\triangle AEC$ 、 $\triangle EDC$ の面積 $8 \text{ cm}^2$ 、 $2 \text{ cm}^2$ を図にメモ書きしよう。
- ⑨  $AE$ と $ED$ の長さの比は $\triangle AEC$ と $\triangle EDC$ の面積の比に等しいですから  
 $AE : ED = 8 \text{ cm}^2 : 2 \text{ cm}^2 = 4 : 1$   
 したがって、 $ED$ の長さは、  
 $ED = 6 \text{ cm} \div (4 + 1) \times 1 = 1.2 \text{ (cm)}$

<解説ポイント>

⑦ さらに図の比のメモ書きを徹底させる。



⑧ この時点で将来役に立つであろう、比例配分の分数での式を教えましょう！！

$$\left[ 6 \times \frac{1}{4+1} = 1.2 \right]$$

↓ 最後に、総括をすることにより、より子供の記憶に残りやすくなります。これをするのもしないのでは、半年もすれば確実に偏差値 10 くらい簡単に差がついてしまいます。

イメージ  
総括法

- ⑨ 解説後に、以下のように、1、2分でもいいので、その問題の総括をイメージトレーニングさせましょう！

暗記ポイント 2 …イメージトレーニングさせ暗記させましょう！

双子山 → 「辺の比が = 面積比」 → 「面積比が = 辺の比」！

※ 「これだけだ！」 「簡単なんだ！」 という感触を植えつけることが大切。

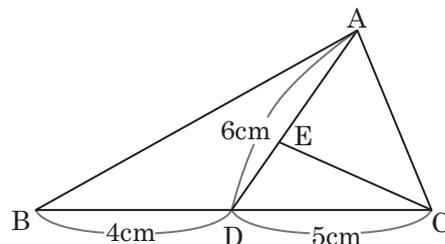
⑨ 「算数って学習の仕方さえ分かったら簡単だし、面白いんだ！！」 というのを小さいうちに植えつけることに成功すれば、それで勝ったも同然です。

下の **例題** の解説が、「通常テキスト（予習シリーズ）」の解説です。これはこれで、数ある塾の中では、丁寧な方の解説です。しかし、残念ながら、ノウハウやテクニックは入っていません。「1年で偏差値20上がる学習方法」との違いを、是非ご確認ください。そして、本物のプロのノウハウの存在に気づいていただき、大切なお子様にとって一度しかできない中学受験を是非成功させてください！

**例題** …… 塾の中では丁寧な方なテキスト [予習シリーズ] より

右の図の三角形ABCの面積は $18\text{cm}^2$ です。これについて次の問いに答えなさい。

- (1) 三角形ABDの面積は何 $\text{cm}^2$ ですか。  
 (2) 三角形AECと三角形ABDの面積が等しいとき、EDの長さは何cmですか。

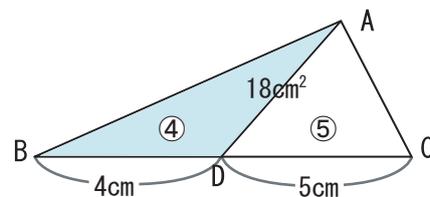


**解き方**

- (1) 三角形ABDと三角形ADCを比べると、高さが等しいですから、その面積の比は、底辺の長さの比に等しく  $4 : 5$  になります。

$18 \div (4 + 5) = 2 (\text{cm}^2)$  …… 比の1あたりの面積より、三角形ABDの面積は、

$$2 \times 4 = \underline{\underline{8 (\text{cm}^2)}}$$



- (2) 三角形ADCの面積は  $(2 \times 5) 10\text{cm}^2$  ですから、三角形EDCの面積は、

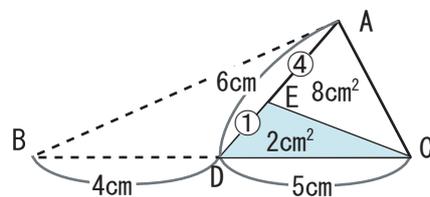
$$10 - 8 = 2 (\text{cm}^2)$$

AEとEDの長さの比は三角形AECと三角形EDCの面積の比に等しいですから、

$$AE : ED = 8 : 2 = 4 : 1$$

したがって、EDの長さは、

$$6 \div (4 + 1) \times 1 = \underline{\underline{1.2 (\text{cm})}}$$



**答** (1)  $8\text{cm}^2$  (2)  $1.2\text{cm}$